

第12号

2021年6月10日 発行

(令和3年)

せいしょうのかい おおぞら かいほう
青松の会 おおぞら 会報



はじめまして

障害施策推進課長 田中 哉子

青松の会「おおぞら」の皆様、はじめまして。4月に障害施策推進課長(障害者支援課長兼務)に着任しました田中哉子(たなかかなこ)と申します。

私は、休日にいろいろな場所に出掛けて散歩を楽しんでいます。最近では遠出がままならないため、近くの多摩川沿いを歩いて心身共にリフレッシュしています。

「おおぞら」の皆様には、昨年区から「めぐろはんどめいどエコバッグ」の製作をお願いしました。手の込んだ作業を丁寧に進めることで、利用者の意欲や、やりがいにつながったと伺っています。また、本年3月に改定した目黒区障害者計画の施策の一つに就労支援の充実を掲げています。障害の特性や能力に応じて、多様な働き方ができるよう、支援に努めてまいります。

青松の会「おおぞら」の皆様、どうぞよろしく願い申し上げます。

退任にあたり「おおぞら」への思い

健康福祉部福祉総合課長 保坂 春樹

青松の会「おおぞら」の皆様には、目黒区の福祉行政にご理解ご協力いただきまして暑く御礼申し上げます。

私事ではございますが、本年4月から福祉総合課長を拝命し、障害福祉課長を含めて4年間にわたり、伊藤前理事長、飯尾理事長、熊谷施設長をはじめ、皆様には大変お世話になりました。中町作業所から移転するにあたり、多くの皆様のご尽力により、施設の竣工を迎え、平成29年6月1日に「おおぞら」の開所式を開催されたことは、つい先日ようです。毎年3月に行われていた施設開放やスマプラフェスタ等のイベントなど、様々なことが思い出されます。

また、施設名称である「おおぞら」にふさわしい青色の外観は、東急東横線の車窓からも見え、感慨深いものがあります。本施設の前身は、昭和45年4月のミチル会作業所として始まり、半世紀以上にわたる長い歴史があります。その伝統に触れながら、在任中に皆様と関わり、一緒に仕事をできましたことにあらためて感謝申し上げます。

結びになりますが、青松の会「おおぞら」の末永いご発展と皆様の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

自己紹介しま〜す



新潟は、鉄道で栄えり
 新津市の姉三人、兄一人がいる
 六番目として生を受け、今は九人
 の孫に恵まれ、好きなことを
 一生の仕事にできると
 と幸せに思っています。

身体的には、若い人に
 負けていますが、心は
 負けていないつもり!!

前田 友江

© DISNEY

今年で7年目になる土井です。
 運動と映画鑑賞（怖い系）が趣味です。
 コロナ禍でトレーニングジムも映画館も
 難しい状況のため、自宅のインターネット
 を観て運動や映画鑑賞をしています。
 本年度もよろしくお願い致します。

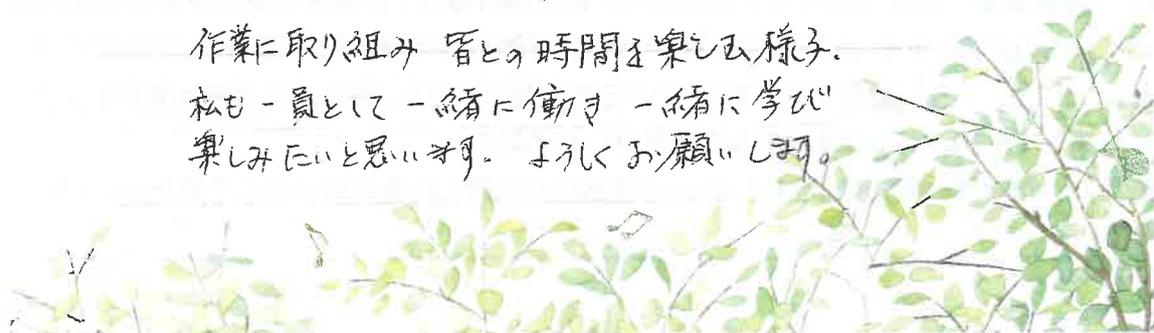
土井 清志

最初は1年の約束で目黒さくら作業所に着任し、気が付いたら
 30年以上が過ぎていました。
 ミチル会・中町と名称も所在地も移り替わり、ようやく現在の
 「おみどり」の地に脚を置えることができました。
 日々、何気ない日常風景や仲間との写真を撮り、猫と戯
 れ、お酒を嗜んでいきます。
 皆様と会いのあくなき仲間さんとの絆が
 今年にもよろしくお楽しみください。 徳谷

おおぞら2年目の綱本です。
 趣味は散歩と旅行です。
 この道には何があるのかと探索して
 歩くのが好きです。
 新しい発見にワクワクすることもあります。
 最近では花や若葉に誘われることもあります。

綱本 敦子

3年目の戸澤です。
 経馬舎の古い作業所の一員として職員の方、
 利用者の方々に仕方のコツ等手解きを頂戴して、
 作業に取り組み 皆との時間を楽しむ様子。
 私も一員として一緒に働き 一緒に学び
 楽しみたいと思います。 よろしくお願ひします。



主人の転勤で東京に来て15年。福祉の世界初心者の私でも、利用者の純粋な心と素直さや真面目に作業する姿を見て心動かされ、勤続年数も11年になりました。これからも笑顔の多い作業所でありますように。青木紀子

人間は、心で動くものだ。
朝、元気になる言葉をかけられると、
一日明るい気持ちでいられる。
もし、辛いことがあったら空を見上げよう。
「わたしの太陽オーソレミオ」という歌がある。
あなたの前に太陽があります。
オオゾラ ミヨ



折田稔

私、昭和の兎年、三月生まれ。
旅行・スキーが大好きですが
今は我慢、でも思わずコロナ禍で
散歩も楽しみになってます。
本年より週二日勤務「一日を楽しく、
ニコニコ！」とモットーに皆様と
一緒に頑張りま。 石原



仲の良かった龍さんから、誘われていて
縁あって4月から「おおぞら」で働くことにな
りました。

水・木・金の週に3日間ですが、のんびり、
あせらず、頑張らないで、皆さんとやってい
きたい思います。

猫とドライブが好きです。



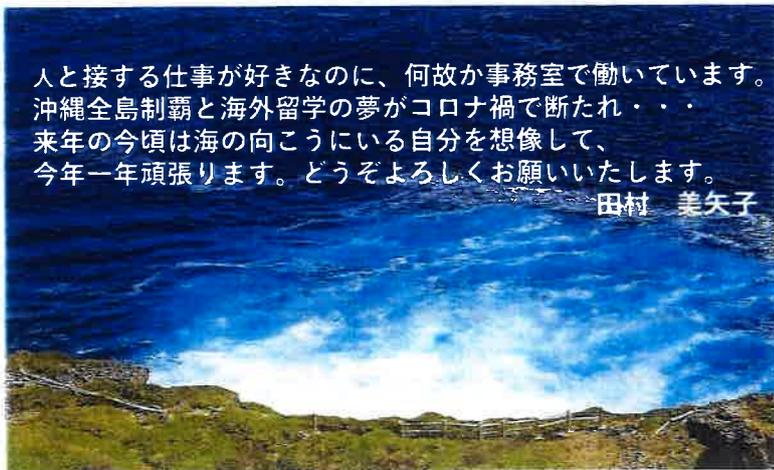
松田 淳



おおぞらに勤めて8年目になりました。
皆さんが楽しく笑って、お仕事をしたり
作業所での一日を過ごすことが出来
たら良いなといつも思っています。
そんな作業所になるよう頑張ります。
宜しくお願ひします。 加藤由香里

人と接する仕事が好きなのに、何故か事務室で働いています。
沖縄全島制覇と海外留学の夢がコロナ禍で断たれ・・・
来年の今頃は海の向こうにいる自分を想像して、
今年一年頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

田村 美矢子



【 おおぞら活動紹介 】

自主製品

≪ ステンシルによる布巾、ハンカチの製作 ≫ ≪ エコバッグ (ろうけつ染め・しぼり染め) ≫
 ≪ ビーズワーク (ストラップ・ネックレス・ブレスレット等) ≫ ≪ 季節の置物作り (干支飾り等) ≫
 ≪ 木工加工 (キーホルダー・クリスマスツリー等) ≫ ≪ 布製品 (マスク・ブックカバー等) ≫
 ≪ 紙製品 (カード入れ等) ≫ ≪ 食品加工 (各種ジャム等・ドロップクッキー等) ≫



外注作業内容



官 公 需 …… 区立公園清掃2ヶ所・四十雀巣箱作り
 企業受注 …… 鑑賞魚用エアポンプの部品組立・箱組み立て
 菓子袋折りと紐通し・飴の各種梱包作業
 毛糸のサンプルセット作成

………… 企業受注承ります。お問い合わせ下さい ……

ホームページ

<http://www.seishonokai.or.jp/>
 又は、「おおぞら」で「検索」してご覧下さい。

≪ 青松の会おおぞら職員 ≫

〈施設長〉熊谷重信 〈副施設長〉前田友江 〈支援担当〉土井清志
 〈支援員〉石原道・加藤由香里・青木紀子・折田稔・戸澤道子
 網本敦子・松田淳 〈事務担当〉田村美矢子

特定非営利活動法人 青松の会おおぞら

〒152-0001 東京都目黒区中央町2-32-13

TEL : 03-3710-2531

FAX : 03-3710-2540

E-mail : oozora@seishonokai.or.jp

発行人 熊谷重信

コロナウイルス感染禍の下、みなさんは「三蜜を避けての生活」を過ごしておられることでしょう。一日も早く収まるとを願って。私たちは、自主製品・受注作業に精を出し、額に汗して奮闘中です。(職員一同)